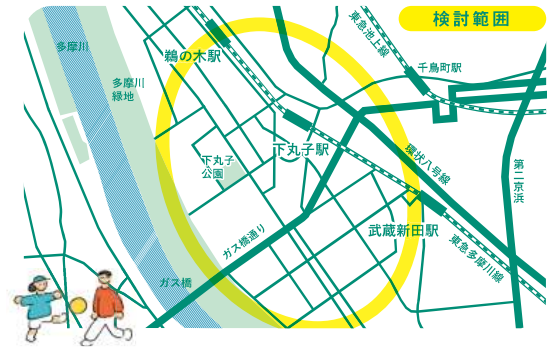


「下丸子駅周辺地区グランドデザイン」の策定に向けた さまざまな取り組みが進行中！

地区の魅力を引き出し、未来につなげるまちづくり

2023年に大田区は、概ね20年後の将来像とその実現に向けたまちづくりの方針として、「下丸子駅周辺地区まちづくり構想」を策定しました。この構想は、上位関連計画や地区の関係者との意見交換等を踏まえて取りまとめたもので、地区の関係者と共有しながらまちづくりを推進するための指針となるものです。2024年度以降は、構想の中で掲げられる「まちづくりコンセプト」の実現を目指し、より具体的な取り組みを位置付ける「(仮称)下丸子駅周辺地区グランドデザイン」の策定に向けた活動を進めています。



まちづくり TOPICS

駅周辺の未来を議論する まちづくり検討会が本格スタート

2024年2月に始動し、12月までに計5回にわたって開催された「下丸子駅周辺地区グランドデザイン策定に向けたまちづくり検討会」。この検討会は、「下丸子駅周辺地区まちづくり構想」で掲げるまちづくりのコンセプトや目指すまちの姿を踏まえ、より具体的な取り組みを検討する「(仮称)下丸子駅周辺地区グランドデザイン」の策定に向け、区民の意見を広く取り入れる議論の場として位置づけられています。地区関係者や下丸子のまちづくりに関心のある方がグループに分かれ、街路、オープンスペース、商店街や地域の資源など、さまざまな観点からまちの課題や将来像への議論を重ねました。



まちなか空間の新たな活用に向け 駅北側の道路で実証実験を行いました

2024年11月30日(土)に、地域と連携して実証実験を行いました。この実験は、下丸子駅前やまちなかにおける居心地の良い公共空間の創出を見据えたもので、「下丸子駅周辺地区まちづくり構想」で掲げる目指すまちの姿の実現に向けた試みです。下丸子駅北側の区道の一部にテーブルやベンチを設置し、休憩や交流の場としての活用方法を検証しました。大田区では、実験を通じて収集した利用データや地域の声をもとに、今後のまちづくりに活かしていく方針です。

詳細はこちら



おおたオープンファクトリーと ストリートキャンピングが同時開催

2024年11月30日(土)には、区の実証実験のほか、地域主体の取り組みとして「おおたオープンファクトリー2024(主催:おおたオープンファクトリー実行委員会)」と「第4回しもまるこストリートキャンピング(主催:シン下丸子プロジェクト実行委員会)」が開催されました。おおたオープンファクトリーでは、大田区内各所の工場が、普段見ることのできない製造現場を一般公開。職人との交流やワークショップを通じて、大田区の町工場の高度な技術に触れる貴重な機会を提供しました。また、しもまるこストリートキャンピングは、下丸子駅南側の道路を使用してさまざまなイベントを開催。青空フードコートや一日限定の足湯「湯の町まるこ」、スタンプラリー、オリジナルロングTシャツの販売など、地元の店舗を中心にさまざまなブースが出店しました。複数のイベントの同時開催により、多くの人々がまちを訪れ、地域の新たな魅力を発見する一日となりました。

● おおたオープンファクトリー



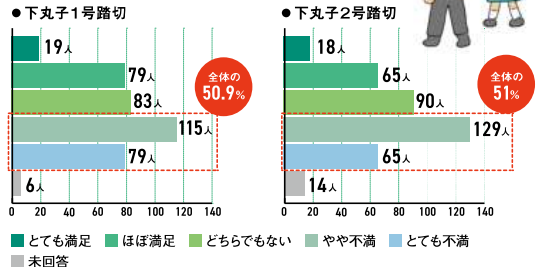
● しもまるこストリートキャンピング



踏切の安全対策に向けて アンケートを実施しました

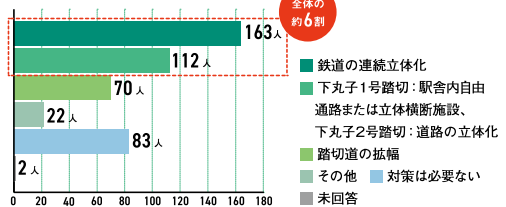
2024年9月27日(金)から10月18日(金)にかけて、「下丸子駅周辺の踏切に関するアンケート」を実施しました。この調査は、駅前の下丸子1号踏切、ガス橋通りの下丸子2号踏切の解消やそれに併せたまちづくりに向け、地域の方から踏切の利用実態や現状への認識などに関するご意見を伺い、当地区のまちづくりを検討するうえでの参考として活用することを目的として行われたもので、489名の方に回答いただきました。その結果の一部をご紹介します。

Q. 「下丸子1号・2号踏切」の交通環境について あなたの考えに近いものは?



下丸子1号・2号踏切ともに利用する方の踏切に対する満足度は、「とても不満」「やや不満」と回答の方が、1号踏切は全体の50.9%、「満足」「ほぼ満足」は25.7%、2号踏切は全体の51.0%。「満足」「ほぼ満足」は21.8%と、いずれも半数を超える結果になりました。

Q. 「下丸子1号・2号踏切」の踏切道対策の案として 適切と思われるものは?



また、踏切対策として適切と思うものに対する回答では、「鉄道の連続立体化」が36.1%と最も多く、次いで「1号踏切については駅舎内自由通路または立体横断施設を設置する、2号踏切については道路を立体化する」が24.8%となり、約6割の方が抜本的もしくはそれに近い対策を求める結果となりました。今後は、この結果を踏まえ、踏切の安全対策や周辺環境の改善に向けた検討を進めています。

アンケートの結果は
ウェブで公開中!

